

第4回庄内町社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成25年10月21日(月)13時30分～15時10分
- 2 開催場所 立川庁舎 第2会議室
- 3 出席委員 斎藤良一、佐藤富美、富樫良秋、奥山俊昭、石井玲子、志田征子
岩浪勝雄、志田啓子、矢嶋玲子、廣田静吾、阿部真一
- 4 欠席委員 佐藤啓子、秋葉俊一、菱谷光雄
- 5 事務局 社会教育課長、社会教育課長補佐

.....
進行：社会教育課補佐

- 1 開 会 社会教育課長 (13:30)
- 2 議長あいさつ 富樫良秋議長
- 3 議事録署名委員 (社会教育委員の研修のため議事録署名委員なし)
- 4 研修 テーマ「社会教育委員の役割について」
講師 山形県社会教育連絡協議会理事 金澤 和子 氏
研修内容
社会教育委員のこれから
(社会教育委員とは? 社会教育委員の役割とは? 全国の配置状況は?)
(1) 官民協働で振興を
民間の知恵と力を社会教育行政に活かす制度・・・社会教育委員
(2) そして今地域では
地域や家庭の教育力低下がいわれ、多子時代にはなかった課題がでてきて、改めて社会教育の大切さを考え、どの自治体でも住民と協働した活動の振興を目指し、NPO法人制度や税制上の優遇措置などの制度整備が進められている。その先駆的な存在は社会教育委員制度。しかし、社会教育委員を取り巻く状況は厳しい。(委員数削減や会議回数の削減など)
(3) 社会教育委員は役立てるか
社会教育委員の状況は厳しくても、行政から依頼されたことを提言するだけでなく、民間の知恵と力で社会教育の振興のための取り組みの積み上げがなされること。そのために委員同士の地域課題把握共有が必要。
(4) これから
これからの社会教育行政は、まちづくり部局や福祉部局他の行政部局との連携・協働を強める。地域のNPO団体や大学や企業等との連携・協働したネットワーク型行政の推進等が必要と、2013年1月の中央教育審議会生涯学習文化会から今後社会教育行政の方向性についての提言があった。もはや縦割りでは進めない状況となっている。住民の中にいる社会教育委員が、行政の社会教育主事や担当職員と連携・協働しながら、地域の人づくり、絆づくりを目指して、主体的に活躍することが期待されている。
- 5 閉 会 (15:10)